

(1) 耐震ネットワーク工事の推進 **R6年度事業完了** (予算：450,824千円)

震災時でも水道水を届けられるよう、「福岡市地域防災計画」で指定された収容避難所や救急告示病院など、水道局における重要給水施設414施設のうち、平成19年度末で耐震化されていない256施設の給水ルート（配水管）を優先的に耐震化していきます。

《令和6年度の取組み》

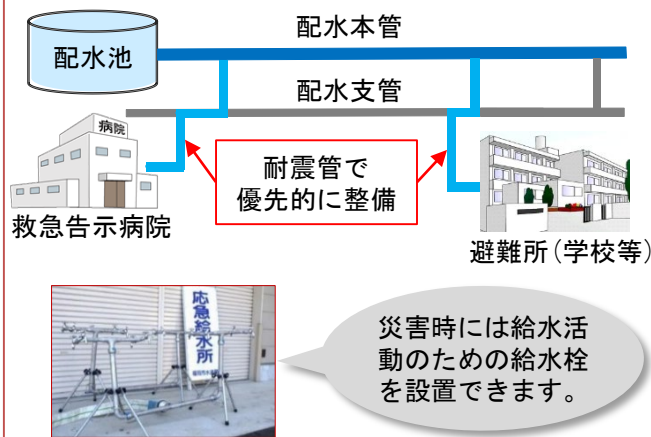
- ◇ 収容避難所などの対象施設への管路を耐震化 7施設

Point

完了

・令和6年度末までに、対象256施設の給水ルートの耐震化を全て完了

耐震ネットワーク工事の概要



(2) 重要施設の耐水化 (予算：22,400千円)

洪水や高潮浸水、土砂災害などの災害発生時においても、市民生活等への影響を最小限にとどめるため、浄水場や取水場などの重要な水道施設や災害対策の拠点である水道局本庁舎について、耐水化のための対策強化を図ります。

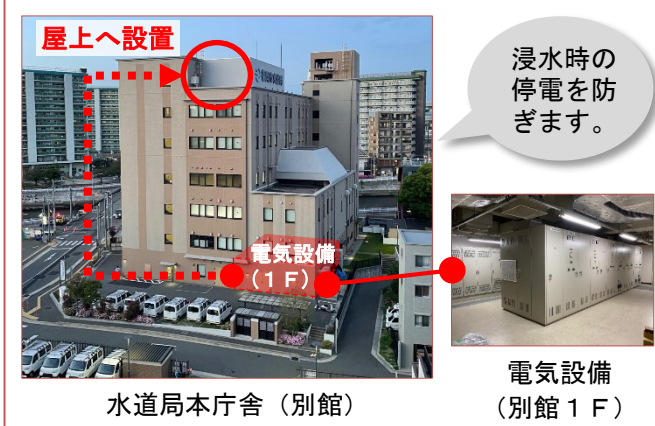
《令和6年度の取組み》

- ◇ 水道局本庁舎電気設備移設工事の設計
- ◇ 夫婦石浄水場土石流対策工事の設計等

Point

・近年の気候変動を踏まえ、対策完了を2年前倒しし、令和10年度末までに、重要拠点施設5施設の耐水化完了を目指す

水道局本庁舎の電源喪失対策



(3) 水道原水の監視 (予算：99,037千円)

水道原水への油混入等による水質事故を未然に防止するため、取水場や浄水場等に設置した水質計器により、24時間体制で水道原水の水質監視を行います。

《令和6年度の取組み》

- ◇ 番托取水場かび臭物質自動計測装置の設置
- ◇ 油検知器の保守点検 等

Point

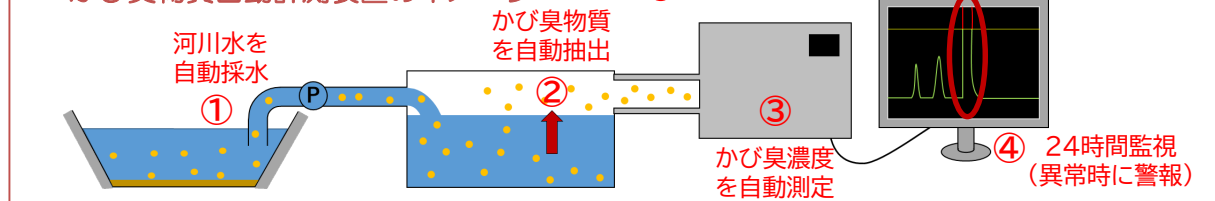
完了

・令和5年度に着手した番托取水場への「かび臭物質自動計測装置」の新設は、令和6年度に設置を完了

かび臭物質を24時間体制で監視します。



かび臭物質自動計測装置のイメージ



(4) 危機管理体制等の充実

(予算：52,539千円)

大規模な災害や事故の発生により、水道施設に多大な被害が生じた場合においても、市民生活等への影響を最小限にとどめるため、研修や実践的な訓練などを実施するとともに、広域的な連携の強化など災害時応急体制の充実に取り組めます。

《令和6年度の取組み》

- ◇ 日本水道協会九州地方支部 合同防災訓練の実施

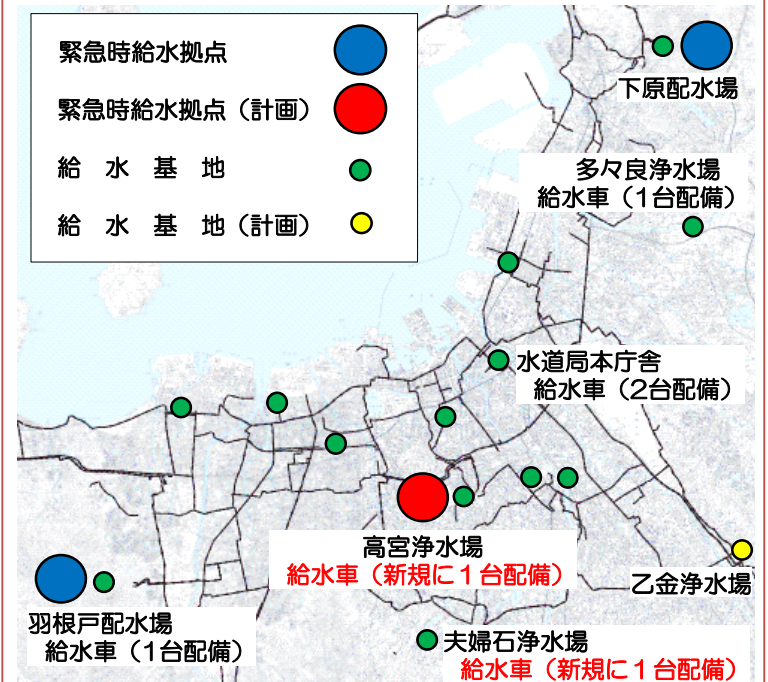
拡充 ◇ 給水車の追加配備 2台
(4台配備→6台配備に増強)

拡充 ◇ 災害活動装備品等の充実

Point

- ・ 応急給水活動に重要な役割を果たす給水車を追加配備し、応急給水体制を強化
- ・ 被災した他の水道事業体をより迅速に支援できるように、応急給水や災害復旧活動に必要な備品や機器等を充実

緊急時給水拠点・給水基地の位置図

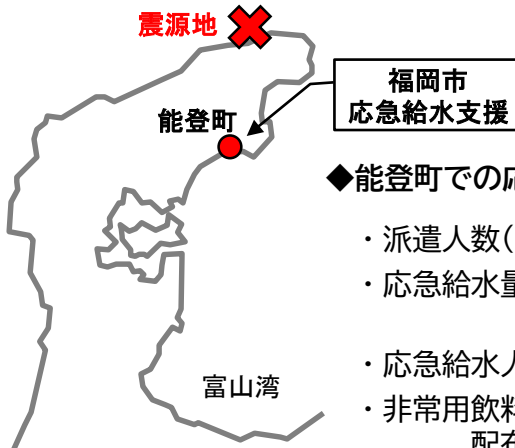


給水基地(水道局本庁舎)と給水車

令和6年能登半島地震に伴う石川県能登町への応急給水隊派遣

◆ 応急給水の概要

令和6年1月1日の石川県能登地方を震源とする最大震度7の地震により、大規模な断水が発生した石川県能登町を支援するため、水道局職員及び給水車等を派遣し、1月6日から応急給水活動を実施



◆ 能登町役場小木支所での応急給水活動



非常用飲料水袋(6L)

◆ 能登町での応急給水活動(2月14日時点)

- ・ 派遣人数(延べ) : 286名
- ・ 応急給水量(合計) : 504m³
(給水車305台分)
- ・ 応急給水人数(合計) : 約10,200名
- ・ 非常用飲料水袋
配布数(合計) : 691袋

◆ 給水車(1.65m³)への注水



(1) お客さまとのコミュニケーションの推進とサービスの向上

(予算：53,146千円)

広報紙やホームページ、ソーシャルメディアなど様々な広報媒体、各種イベントを通じて、お客さまが必要としている情報を積極的に提供することにより、水道に関する疑問や不安の解消に努めます。

《令和6年度の取組み》

- ◇ 広報紙「みずだより」やパンフレットの発行
- ◇ こども水道教室や職業体験の実施 等

Point

『令和6年1月4日 新サービス開始』

- ・水道料金系システムの刷新に伴い、水道の利用状況をグラフで確認できるサービスや、水道料金等のPay払いなどの新サービスを開始
- ・「ご使用水量等のお知らせ」に音声コード（ユニボイス）※を導入
※ 詳細は、10ページ下段を参照

水道局が実施する様々な広報

こども水道教室

子どもたちに、福岡市水道の歴史や、水道水ができるまでの仕組み、水道水の安全性などを知ってもらい、「じゃ口の向こう側への理解」を深めてもらうため、市内の小学4年生を対象に、出前授業を実施



福岡市水道局
公式アンバサダー



なかじまこうじ
「中島 浩二 氏」

こども職業体験

未来を担う子どもたちが、「水道の仕事を直に体験」する機会を創出



水道管の接合



漏水調査



水圧の調整

(2) 経営の効率化

(予算：20,068千円)

水道事業を取り巻く環境の変化に柔軟に適応し、経営の効率化を図るため、ICT技術を活用した水道施設の維持管理等の検討・検証を行うなど、水道ICTの取組みを積極的に推進します。

《令和6年度の取組み》 **水道ICT**

- 新規** ◇ より効率的・効果的な「漏水防止システム」の構築（再掲）
 - ・人工衛星画像を活用した水道管漏水調査（令和6年度実装）
 - ・IoTセンサ等を活用した水道管漏水調査（令和6年度実装）
 - ・AIを活用した水道管劣化予測（令和6年度から予測結果を活用）
- ◇ 窓口対応のオンライン化
 - ・地下埋設物確認調査オンラインサービス（令和6年1月開始）
 - ・インターネットを利用した水道管理設状況確認サービス（令和6年度中に開始予定）

(3) 国際貢献活動

(予算：4,319千円)

節水型都市づくりを通じて培ってきた水道技術を活かして、JICA（独立行政法人国際協力機構）等と連携した国際貢献活動を推進します。活動を通じて、水道局職員の技術や知識の向上を図り、広い視野を持った人材を育成します。

《令和6年度の取組み》

- ◇ JICA等と連携した開発途上国への技術協力（職員派遣による現地指導や海外研修員の受入等）

水道局の国際貢献活動



現地での技術指導



水道技術研修所での受入研修

「福岡市水道局アプリ」の開設 令和6年1月サービス開始

アプリで利用可能なサービス

- ① 水道の使用開始・中止手続き
スマホで簡単に手続きできます。
- ② 水道料金・使用水量の確認
過去2年間の水道料金・使用水量をグラフで分かりやすく確認できます。
- ③ 各種通知機能で水道局からのお知らせを確認
メーター検針後の水道料金・使用水量や、冬の水道管の寒波対策などをプッシュ型でお知らせします。
- ④ お支払方法の手続き
口座振替やクレジットカード継続払いなどの申込み・変更が可能です。
- ⑤ スマートフォン決済でのお支払い※
水道局アプリに届く請求データから、そのままPay払いができます。

※他にも、納付書のバーコードをスマホのPayPay、LINE Pay等のアプリで読み込んで支払うPay払いも開始



「福岡市水道局アプリ」の特設ウェブサイトはこちら→

「ご使用水量等のお知らせ」に音声コード（ユニボイス）を導入 令和6年1月サービス開始

音声コード(ユニボイス)

音声コード（ユニボイス）は、文字情報を二次元コードに変換したもので、専用のアプリを使ってスマートフォンのカメラをかざすと、その内容を音声で聞くことができ、視覚障がいのある方だけでなく、小さい文字が見えづらい方へも情報を届けることができます。

水道料金系システムの刷新に合わせて、様式を変更

音声コード（ユニボイス）の二次元コード

ご使用水量等のお知らせ 令和 6年 1月 検針分		発行日: 令和 6年 1月15日	
お客さま番号 1-0-000001-0-10		お客さま名 福水 フク 様	
今日ご使用水量	今日 指針	今日ご使用日数	前回検針日 11月15日
22 m ³	(-) 前回指針 758	61	今日検針日 1月15日
	(+) 取替水量 736		
	0		
今日ご請求金額	水道料金(円)	2,585	10%対象 (235)
4,877	下水道使用料等(円)	2,292	10%対象 (208)
(443)	うち下水(税抜)	2,084	
	うち再生水(税抜)	0	
振替日・納期限	令和 6年 2月 8日	お支払い方法	口座振替
			発行日時点でのお支払い方法です。
前回ご使用水量	20 m ³	口径	13 mm
昨年同月ご使用水量	23 m ³	用途	家事用
戸数換算(共同住宅等)の場合の料金対象戸数等	再	今日指針	****
入居戸数	13mm	(-) 前回指針	****
事業場数	20mm	(+) 取替水量	****
0	40mm	今日ご使用水量	****
0	50mm		
0	0		
お問い合わせ先 営業所	TEL:	検針員:	
お問い合わせなどは営業時間内(月曜日～金曜日午前9時～午後5時)にお願いします。メーターの検針は2か月ごとに行います。			
福岡市水道局 福岡市水道事業管理者 登録番号 T 6800020000075			

水道料金等領収書 (口座振替・自動払込用)

氏名 福水 フク 様

令和 5年1月 検針分 振替日 12月 8日

前回検針日 9月15日 今日検針日 11月15日

お客さま番号 1-0-000001-0-10

今日ご使用水量 20 m³

水道料金(円) 2,244

10 %対象 (204)

下水道使用料等(円) 1,958

10 %対象 (178)

うち下水(税抜) 1,780

うち再生水(税抜) 0

合計(円) 4,202

(382)

上記のとおり領収しました。

福岡市水道事業管理者

音声コードの位置を指で触ってお分かりいただけるように、用紙の右下に半円の切り欠き加工を施しています。

(4) 環境に配慮した事業運営

脱炭素社会の実現に向けたチャレンジ



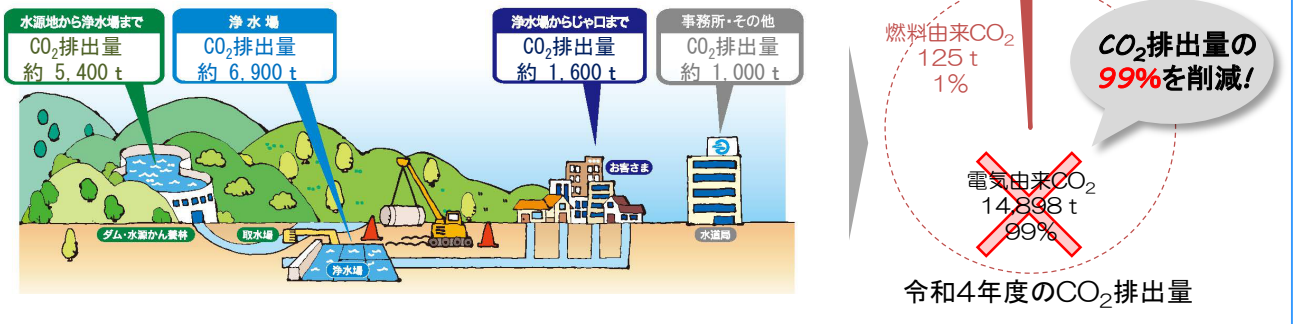
① 再生可能エネルギー由来電力の調達

(予算※：86,612千円)

※ 再生可能エネルギー由来電力の調達にかかる追加予算分

浄水場や庁舎等の水道施設におけるCO₂排出量の99%は、電力使用によるものです。水道局では、脱炭素社会の実現に寄与するため、令和4年度より水道施設で使用する電力は、再生可能エネルギー由来電力を調達しています。

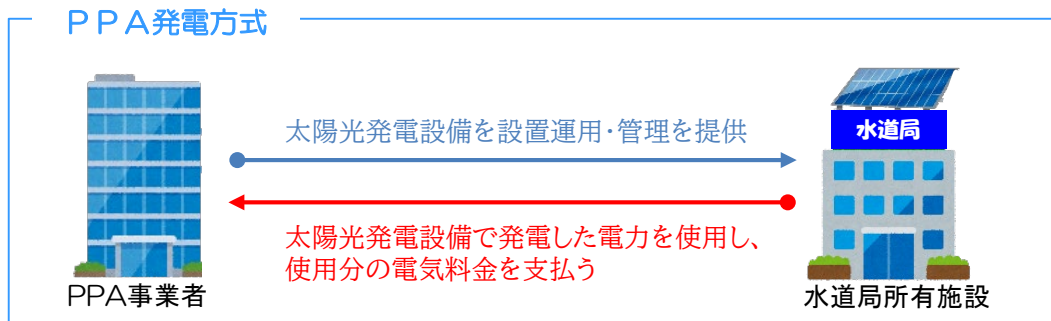
各施設における電気由来CO₂排出量



② 太陽光発電の導入

自家消費を主目的とした、初期投資が不要なPPA※方式を活用し、太陽光発電を導入拡大します。

※ PPA：「Power Purchase Agreement」の略で、発電事業者が施設の屋上等に太陽光発電設備を発電事業者の費用により設置し、そこで発電された電気を水道局に供給する仕組み



《これまでの導入状況》

◇ 直営方式により導入

導入施設	計画発電量	稼働開始
夫婦石浄水場	62千 kWh/年	平成23年
水道局本庁舎	2千 kWh/年	平成25年

◇ PPA方式により導入

導入施設	計画発電量	稼働開始
多々良浄水場	281千 kWh/年	令和6年(予定)
多々良取水場	94千 kWh/年	令和6年(予定)

《令和6年度の取組み》

◇ 夫婦石浄水場、室見取水場、羽根戸送水ポンプ場へPPA方式で導入（R7完了予定）

